

集中講義

「数学特別講義 B」

「数学総合講義 I (修)」

「応用数理特殊講義 H III (博)」

酒井 拓史 講師
(神戸大学 准教授)

- * 期間： 12月13日(火) ~ 12月16日(金)
- * 時間： 15:00~18:00
- * 講義題目：「記述集合論入門」
- * 内容：記述集合論は、実数の“定義可能”な集合（もう少し一般にポーランド空間の“定義可能”な部分集合）についての理論です。これらの集合はその“定義の複雑さ”によって、単純なものから順にボレル集合・解析的集合・射影的集合などに分類されます。解析学に現れる多くの集合が解析的集合になりますが、解析的集合がルベーグ可測性・ベールの性質・完全集合の性質などの良い性質を持つことが20世紀前半から知られていました。また20世紀後半には、これらの事実がボレル集合のゲーム決定性を用いて統一的に説明されるようになりました。
この授業では上述の記述集合論の流れをなるべく丁寧に解説します。また、巨大基数公理のもとでは、射影的集合がゲーム決定性を持ち、ルベーグ可測性などの良い性質も持つことが知られていますが、この事実についても簡単に紹介します。
- * 談話会： 12月12日(月) 16:00~
「巨大基数公理と反映原理」
- * 場所： 川井ホール